

行ノ羨譽全貫不致且十一年中ノ布告四年ノ永キヲ聞  
スルモ其實ヲ見ルノ場合ニ至ラスシテハ人民ノ信用  
如何ニモ関シ施政上大ニ不便ヲ極メ候間右事務速ニ  
司法省一引渡ノ上行政司法ノ區域ヲ判別シ人民ノ幸  
福一ニ歸スル様致度此段上請候也

明治十四年十一月十九日 開拓長官黒田清隆



太政大臣 三條實美殿

七五

甲第六拾六號

外國人雇継ノ義ニ付伺

當使雇米國人札幌農學校教師トクトルジョンカラレンス、コツタル  
義本年九月雇滿期ニ付尚壹ヶ年雇継方甲第三九号ヲ以  
相伺候蒙來明治十五年一月迄ノ期限ヲ以條約可取結云々御指  
令相成右ハ畢竟當使定額經費年限ニ關シ御指揮相成候事  
ト被存候得共同校生徒ノ義ハ學業定期モ有之候ニ付自然定額  
年度後ト雖モ必存置モサレテ得テ隨テ教員モ是非必要ナルハ勿論  
ニ付學期中ハ雇継ノ運ニ不相成候テハ恕テ差支ヲ生シ候就テハ右  
カツタル義ニ同校教頭心得ウ井リアム、ブルウクス義モ來十五年一月  
六日ニテ雇滿期ニ付更ニフルウクスハ一月七日コツタルハ二月一日ヨリ向壹ヶ年間是迄ノ月  
俸額銀貸フルウクス三百円コツタル數ハ其餘從前同一條約ヲ以雇継致度已ニ  
當使雇外國人中ホウマンナル者ハ本年五月ヨリ向一ヶ年間雇継ノ

64

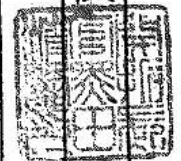
甲七

開拓使

義甲第拾五号ヲ以テ伺出裁可濟即定額期限後ニ涉リ候例ニ有之候条至急御裁可相成度此段再應相伺候也

明治十四年十月廿六日

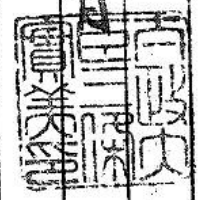
開拓長官黒田清隆



太政大臣三條實美殿

伺之趣伺局此奉

明治十四年十二月二十七日



七三

甲第拾七號

官負祭菜料被下方ニ義伺

當使七等属酒居忠郁及西常直義令般病死候處孰ニ別記履歷書、通在職中格別勤務勉勵候者共ニ付酒居忠郁、金五拾円西常直、金貳拾五円為祭菜料吉使定額内ヲ以テ被下方取計度候条至急御裁可有之度以段相伺候也

明治十四年十月廿八日

開拓長官黒田清隆



太政大臣三條實美殿

65

甲七二

開拓使